

平成26年5月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成26年5月28日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 武 輪 節 子 |
| 委員長職務代行者 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 大 庭 文 武 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|------------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長兼市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 田 中 勉 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 木 村 一 夫 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 図書館副館長 | 千 葉 玲 子 |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 |
| 学校教育課参事 | 茨 島 隆 |
| 東地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 博物館参事 | 古 里 淳 |
| 教育総務課主幹 | 松 橋 洋 (欠席) |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

武輪委員長	<p>ただいまから、平成 26 年 5 月の教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>本日の議事録署名は岡本委員を指定いたします。</p> <p>それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
伊藤教育長	(資料に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>ないようですので、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。はじめに、議案第 29 号「八戸市博物館協議会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
小笠原博物館副館長	(議案第 29 号「八戸市博物館協議会委員の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>それでは、議案第 29 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 29 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	<p>次に、議案第 30 号「八戸市公民館条例の一部を改正する条例第 2 条の規定の施行期日を定める規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
田中社会教育課長	(議案第 30 号「八戸市公民館条例の一部を改正する条例第 2 条の規定の施行期日を定める規則の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。</p>

<p>武輪委員長</p>	<p>(質疑なし)</p> <p>それでは、議案第 30 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>ご異議がありませんので、議案第 30 号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>以上で議案の審議は終わりました。</p> <p>次に報告事項に入りたいと思います。初めに「マイブック推進事業について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>(資料「マイブック推進事業について」に基づき説明)</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>前回の 4 月定例会で、私の方から気になるところをお話して、読みたい本を選ぶんだということを強調していただきたいということとか、無理に課題を出して感想文を書きなさいとかと言わないでほしいとか、保護者の範囲を保護者に分かりやすく、保護者と言っても保護する人が保護者ですから、そういうふうなことでお話ししたんですが、プリントを見れば全部そういった配慮がなされているので有り難いなと思って見ていました。ありがとうございます。</p> <p>私も先ほど武輪委員長さんがお話したように、昨日今日と 6 店ほど回って見たんですが、各書店さんによってはまだ全く準備されていないところ、それから至る所にポスター、チラシを 5、6 箇所くらいに書店の中に貼って、この推薦図書以外にも様々な子ども向けの本をたくさん散らばして置いて、そういうふうなところで工夫している書店さんとか、あと一箇所に集中させて、大きく自分の書店で作ったんでしょうか、マイブッククーポンと大きく目立つようにしたり、各書店さんでも色々工夫しているなと思って見ていました。ただ、ちょっと見たときに、親とか子どもが飛びつきそうな本がその傍にいっぱいあって、映画とかテレビドラマのものとかコミック的なもので読み物なんですよね。それを買っていいのか迷うんじゃないかなというところもちょっとあったので、先ほど課長さんからお話があったように、教育指導課なりで各書店を回ってみて、こういったところで疑問が生じるなとかといった対応を考えておいた方がいいなと思う場面も見られたので、そういうところはお願いしたいなと思っています。</p> <p>それから、ちょっとお聞きしたいんですけども、後でアンケートを実施して</p>

佐々木（宏）教育指導課指導主事	<p>状況を把握するという話があったんですが、細かでなくてもいいのでどういったものを考えているのでしょうか。やはり各小学校でクーポンを配り終わったのかどうかとか、子どもたちが本当に使っているかなといったことを中間で把握する必要もあつたりするんじゃないかなと思ったのですが、どんなアンケートを考えているんですか。</p>
築瀬委員	<p>まだ細かいところまでは詰めておりませんが、まず、クーポンを確実に使ったかということ、それからどういった本を購入しましたかというあたり、あと大体いつ頃使いましたかということで使用された時期等の把握は最低限したいと考えております。どういう本を買ったかということで、学校の方であまり負担にならないような形でアンケートは取りたいと考えております。それから、書店さんに対しては、対応で苦慮したことはありませんでしたかということも項目に入れて、次年度以降に活かしていきたいと考えております。まだ細かいところは詰めておりませんので、これから詰めていきたいと思っております。</p> <p>分かりました。ありがとうございます。今、佐々木先生からもお話があったんですが、どうしても現場にいるとアンケートだらけで、それは十分承知の上で今話されたと思うのですが、細かく本の名前を書かせると膨大な量になると思うので、その辺はジャンルとかそういったことで工夫してもらえれば有り難いなと思っておりました。期待しています。</p> <p>私もボランティアをやっているのですが、読み聞かせをするためにちょっと何冊か買ってみました。確認と要望なんですけれども、この資料の2枚目の保護者向けのプリントの下の方の「使用に当たってのお願い」のところ、①のところ「学校での読書の時間に読むのに適した本」という表現をされているんですね。それから、他のここにはないチラシにも、「学校での読書の時間に適切な本を選んでください」と書いているんですが、今回提出された報告書の1枚目には、学校や家庭での読書に適した本という表現であるんですね。それから、趣旨のところでも留意点のところでも、学校だけではなくて学校や家庭での読書活動に大いに活用することとあるんですね。何かこの書店向けのものとか保護者向けのものに家庭を抜いた理由があるのか。何かの歯止めにしたかったのでしょうか。それとも何も意図はなかったのでしょうか。</p>
佐々木（宏）教育指導課指導主事	<p>まず、保護者向けの方に家庭というのを入れなかったのは、家庭で読むというところまでいくとちょっと範囲が広がるかなということと、あとはマイブッククーポンだけで本を買うという活動が完結するわけではないので、どういう本を買ったらいかなと書店で悩んだときに、学校に持って行っても差し支えないような本というふうな、今築瀬委員さんがおっしゃったようにある程度の歯止めとい</p>

	<p>いますか、そういった意味も込めてこのような表記にさせていただきました。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。よく分かりました。家で読んでいいんですね。</p>
<p>佐々木（宏）教育指導課指導主事</p>	<p>もちろんです。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>意見というか感想ですけれども、前回、築瀬委員がいろいろご質問なされたことが的確にこの中に示されていて、考えられた結果だなというふうにして、大変分かりやすいなというのが第一印象でございました。私も小学生の保護者の方から、「先生こんなのが渡ってきたよ」ということで見せていただきましたので、すでに拝見させていただいておりましたけれども、保護者の方がそこまで市長のマニフェストとかいろんなことが分かっておりませんので、「なんできたんでしょうね」というくらいから始まっていますので、ですからこの保護者の皆様へというのは大変大事な1枚であるなというふうに感じておりました。</p> <p>また、私自身もこの読書というのが、本を読むという行為がどういう行動のかなということ、これによって改めて考えさせられたのですけれども、皆様方も自分で1番最初にお買いになった本を覚えていらっしゃいますでしょうか。私は物心ついたときに1番最初に買った本は、小学生のときに買った推理小説でした。それはよく覚えていまして、黄色い表紙でというふうにして、まだ家にありますけれども、その本が私の現在の立場から見て、それが小学生に適しているかどうかというのは自分自身でもこんなのを選んだのかというくらいのものでして、親にしてみれば「これを買うの」というふうになりがちだと思うんですけれども、子ども自身が自分で選んで自分で買うという行為がまず大事のかなと、それが第一歩のかなというふうに感じております。何を讀んだのかというのは、やはり大人としては知りたいところでして、書店さんの方からどのような本が売れているのかというのを見させていただいて、研究というか、研究する必要があるのかないのかはあれですけれども、そういうことを知って、今の子どもたちというのを知ることも大事であるのかなというふうに感想を持ちました。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>私からも一つお願いがございます。私も実際子どもや保護者がどういうふうにかこのマイブック推進事業について思っているのかなというのが大変知りたかったので、直接保護者の方にもお話を伺いました。学校の方でもこれは500円の金額と同じですので大変重要に扱ってくださって、無くしますともう再発行できませんので、今日なり明日明後日で配付するという学校もあるようです。そして、確</p>

	<p>実に保護者の手元に届いたら受領のサインをして学校側に戻すという形式をどちらの学校も採っているようですが、指導課にお願いしたいのは、この紙で保護者の方にクーポンを渡してだけではなくて、学校側から校長先生から折に触れて口頭で保護者の方、もちろん担任の先生から子どもたちにでもいいんですが、こういう趣旨でこういうところで本に触れてほしいということをお話しする機会を是非設けてほしいなと思っております。私たちの思いというものも是非保護者の方にも深く理解していただきたいなというところもありますし、この一連の行為というところも非常に大事に思っていますので、自ら本を選び購入する体験を通してというところも大変大事なところだなと思っております。クーポンを持って大人が本屋さんに行って買ってきて渡すのではなくて、やはりたくさん本屋さんと一緒に、子どもたちがどの本がいいかなと選ぶというところも非常に大事なところだなと思っておりますので、その辺も口頭で校長先生なり担任の先生から子どもたちや保護者の方にお話をさせていただくという機会も是非設けていただいて、この3ヶ月間を手放しで様子を見るのではなくて、随分そこでいろいろとお話をして、本屋さんの方でも何か困っていることはないですかという形で聞きながら、3ヶ月を見ていきたいなと思っておりますので、その辺をどうぞよろしくお願いいたします。</p>
武輪委員長	<p>それでは次に(2)に移りたいと思います。「博物館夏季特別展『八戸と9人の藩主』の概要等について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
小笠原博物館副館長	<p>(資料「博物館夏季特別展『八戸と9人の藩主』の概要等について」に基づき説明)</p>
武輪委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
大庭委員	<p>感想ですけれども、おそらく先ほどのお話ですと、南郷は1日平日で大体50名弱ということですね。感想としては予想以上に多いのかなと、いいことだなと思っていました。地理的に行くのが難しいのかなというふうに思っていたので。</p>
小笠原博物館副館長	<p>実は昨年度1年間の入館者数が1,500名程、その前年度は2,500名程なんですね。これは企画展の内容によってかなりバラつきがあるということなので、一昨年は安田さんのおもちゃコレクションをやりました、それで人が入ったと。去年はちょっと当たらなかったということで。今年がこのヒロシマ原爆展が15日間で647名、それからオープンのときの看板展が400数名入ってしまして、すでに1,100名近い入館者が入っていますので、今年度は3,000名を超えるかなという期待をしております。</p>

大庭委員	もう少し広まってくれるといいですね。ここまで関心を持っていただけると。
小笠原博物館副館長	そうですね。中にはとにかく見たいという方もおまして、どういうふうな道順で交通手段をどうすればいいかという、車のない方もおますので、そういう方でもバスでも行きたいという方もおます。バスは1回来ると帰れなくなってしまいますので、30分くらいいてすぐバス停に戻れば八戸には戻れるんですけども、1時間くらいいちゃうとバスでは帰れないと。帰るのであれば市野沢まで歩いて、そこのバス停から戻るということしかできないので、バスの便をどうするかというのがこれからの問題だと思いますけれども、ただ、市で補助金を出してバスを運行するとなると費用対効果がどうなのかというのもあります。
大庭委員	ありがとうございました。交通が不便な状況の中で、それぐらいの入館者が増えているというのは有り難いと思っていました。
武輪委員長	それでは次に「(仮称) 第二白山台小学校建設工事設計者選定プロポーザルについて」事務局からの説明をお願いいたします。
澤田次長兼 教育総務課長	(資料「(仮称) 第二白山台小学校建設工事設計者選定プロポーザルについて」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。
築瀬委員	1点ですけれども、建設計画の(2)の③のところは、プールはやはり「プールを建設できる面積、用地を確保する」というだけで終わりということですか。
澤田次長兼 教育総務課長	業者を選定するに当たりましては、築瀬委員さんのおっしゃるとおり、現在はこういう表現にしているところでございます。
築瀬委員	それ以上聞くことはないんですが、私の経験で柏崎小学校が移転・新築されたとき、何度もこのプール建設を要望した経緯があります。小学校には特に必要だと。ただし、必ず建設しなければならない施設ではないということとか、あとは予算の問題ということがあって、強い要望であったんですけども実現しなかった経緯がありまして、今ちょっとお聞きしました。場所とかそういったことも勘案して、学校とか保護者とか地域の声を聞いていただければ有り難いと思っております。

武輪委員長	他にございませんでしょうか。
武輪委員長	私からちょっと質問させていただきたいと思いますが、この第二白山台小学校に限らず、今のプールの件ですけれども、学校にプールがない小学校は、近隣の中学校のプールをお借りしたり、市民プールなどを利用して水泳の授業を行っているのでしょうか。まったく授業では水泳はなしという形なんではないのでしょうか。
澤田次長兼 教育総務課長	今は資料を持っていないのですが、共用しているところはございます。
齋藤学校教育課長	中学校、小学校もそうなのですが、プールを授業で必ずやりなさいということは指導要領の中には盛りられておりません。ただ、救命方法とか水泳をやる上での留意事項については各学校で指導してくださいということは盛りられています。ただ、子どもたちが実際に泳ぎたいという気持ちは分かるわけで、各学校では中学校のプールを使わせていただいている学校もあるし、あるいは南郷区あたりだと南郷の温水プールがあるのでそこに通って行ったり、白山台小学校あたりもたぶん南郷のプールに通って泳いでいるというようなことも聞いておりました。
武輪委員長	他にございませんでしょうか。
武輪委員長	なければ、その他事務局から報告事項はございますでしょうか。
武輪委員長	ないようですので、最後にその他ですが委員の皆様方から何かございますでしょうか。
大庭委員	<p>先ほどの教育長の報告の中で、防災教育副読本の作成委員会が立ち上がっているいろと具体化していくのだと思いますけれども、是非この事業は、八戸の一つの特色にもなり得る、あるいは他地域にもいろんな効果を波及できる一つの試みではないかなと思いますので、この防災教育副読本の作成は担当の方にはいろとお手数をかけることになるかと思いますが、是非いいものを作っていただきたいなというふうに思っております。</p> <p>それからもう一つは、やはり先ほどから出ていますマイブック推進事業、これもおそらく新たな事業としていろいろチェックなり確認等の作業が入るかと思いますが、その辺もお願いしながら、是非いい形で子どもたちの本への親しみとといいますか、そういうふうなものが醸成されていけばいいなと思っております。</p>

武輪委員長	<p>ますので、新しい事業になるかと思いますが、よろしくお願ひしたいなと思ひます。</p> <p>それではこれを持ちまして、平成26年5月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>(午後2時21分終了)</p>
-------	--